

上智大学 音楽医科学研究室 准教授, ハノーファー音楽演劇大学 客員教授

古屋 晋一 先生 公開講座 の ご案内

期日：平成 27年 7月 4日(土)、13:00~15:00 (開場12:30)

会場：レ・ヌーヴォレ中津 サロン 〒531-0071 大阪市北区中津3丁目10-7

プロフィール

上智大学准教授、ハノーファー音楽演劇大学 客員教授。大阪大学大学院 医学系研究科にて博士(医学)を取得後 ミネソタ大学 神経科学部、ハノーファー音楽演劇大学音楽生理学・音楽家医学研究所にて勤務。音楽家の脳と身体の研究分野で世界を牽引し、欧米諸国の教育・研究機関や国際学会において招待講演やシンポジウムを行う。ドイツでは若手科学者に贈られる最も名誉な賞とされるハイゼンベルグ賞を受賞し、その研究は、ウォールストリートジャーナル誌やNatureオンライン版に取り上げられる。またヨーロッパピアノ指導者協会(EPTA)をはじめとする国内外の音楽教育機関において演奏に結びついた脳身体運動科学の講義・指導を行う。身体を傷めずに演奏するための奏法「Freeing the caged bird」プログラム(アメリカ)の認定講師。演奏による身体のトラブルに対するコンサルテーション・個人レッスンをハノーファーおよび東京において行う。2015年度より京都市立芸術大学にて非常勤講師として音楽生理学を教える。主な演奏歴として日本クラシック音楽コンクール全国大会入選、KOBE国際音楽コンクール入賞、プロホ音楽祭出演(アメリカ)、ソロリサイタル(兵庫県立美術館)など。主な著書にピアニストの脳を科学する、ピアニストならだれでも知っておきたい「からだ」のこと。ランランとのイベントやビートたけし氏との対談、NHKハートネットTVへの出演など、アウトリーチ活動にも力を入れている。 www.neuropiano.net

■ テーマ：演奏による無駄な力みを無くするために

練習時や舞台での演奏において、力みはパフォーマンスを損ねる原因になります。

しかし、一口に「力み」といっても、それを生み出す原因は多種多様です。自分が、いつ、どのようにして、力んでしまうか、そして、それをどのようにして解決することができるかを本講座では具体的かつ詳細にご紹介します。



Dr. Shinichi Furuya

■ 聴講料：4,000円 (税込 120分)

お電話で確認後、申込用紙をFAX.又は郵送下さい。

併せて料金を下記口座へお振込み下さい。

なお受付後のキャンセル.返金はお受けできません。

・振込口座：名義 株式会社 レ・ヌーヴォレ
三菱東京UFJ銀行 天満支店 普通 No.0165924

■ お申し込み・お問い合わせ先

レ・ヌーヴォレ 担当 西川 利治

TEL. 090-2192-3406. FAX. 06-6377-0751

〒531-0071 大阪市北区中津3丁目10-7

E-mail tosh-n@qf6.so-net.ne.jp



地下鉄御堂筋線 中津駅 徒歩4分
阪急中津駅 徒歩2分 TEL.06-6377-0750

切り線

FAXの場合はキリトリ不要

古屋 晋一 先生 公開講座 申込書

・ご氏名： _____ ・お電話： _____

・ご住所：〒 _____

・メールアドレス： _____

・学校： _____ (在籍・卒業) ・師事者： _____